

平成 27 年度 外部点検結果報告書

福井市行政改革推進委員会

平成 27 年 11 月 2 日

No.	事業名 担当所属 (26 年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善点・要望	
		評価結果	内訳（人）			
1 【2 班】	地域産品 販路拡大促進事業 商工振興課 (1, 939 千円)	拡大	維持	2	地域産品の市内外での認知度向上と販路の拡大のために重要な事業であり、取組にも意欲や工夫が見られ評価できる。 事業費は現状を維持しつつ、より内容の充実を図ってもらいたいとの期待から、協議の結果、今後の方向性は「拡大」とした。	①市民が手軽に購入でき食卓を豊かにする商品と、市外県外向けに福井を PR する商品とに区別して、ターゲットを明確にして取り組むべきである。 ②「ふくいの恵み」のホームページについて、販売店情報の掲載や、各商品事業者へのリンクを貼る等、消費者が求める情報を的確に提供すべきである。 ③市民の認知度が高い商品についても認定できるよう、追加認定商品の募集にあたっては、積極的な PR に努めてもらいたい。
			拡大	2		
			要改善	1		
			縮小			
			再構築 ・廃止			
2 【1 班】	福井フィルム コミッション事業 おもてなし観光推進室 (700 千円)	拡大	維持		福井を PR するために必要な事業であり、北陸に注目が集まっている中、今後の問合せの増加も予想される。待ちの姿勢から攻めの姿勢へと転じることが必要で、企画立案による誘致にも注力して前向きに進めてほしいため、今後の方向性は「拡大」とした。	①「福井フィルムコミッション」ホームページの情報内容の充実とあわせて、無料で利用できる Twitter や facebook 等を活用して、積極的な PR をすべきである。 ②市民との協働によるミーティング事業を活用する等して、多様な意見を取り入れて事業を実施してもらいたい。 ③市民がメディアを通じて福井の歴史や文化の素晴らしさを再認識することに繋げていってもらいたい。
			拡大	5		
			要改善			
			縮小			
			再構築 ・廃止			
3 【1 班】	いきいき学校生活 支援事業 学校教育課 (99, 525 千円)	拡大	維持		支援を必要とする子のみならずすべての子どもたちの学校生活の充実のため重要な事業であるが、現状では十分に行き渡っているとは言えないと判断し、今後の方向性は「拡大」とした。	①国や県に対して、取組の実績や課題を発信し、支援の必要性を要望してもらいたい。 ②いきいきサポーターについては、ノウハウの継承による人材育成のしくみづくりや、処遇の見直しによる人材確保を図るとともに、現場の教員のケアについても検討してもらいたい。
			拡大	5		
			要改善			
			縮小			
			再構築 ・廃止			
4 【2 班】	図書館運営事業 図書館 みどり図書館 桜木図書館 (65, 868 千円)	拡大	維持		図書館は知の拠点として重要な施設であるため、事業費は現状を維持しつつ、必要な市民サービスや読書活動を推進する各種事業の更なる充実に努めてもらいたいことから、今後の方向性は「拡大」とした。	①超高齢社会や情報化等の社会の変化にあわせて、他の関係部局とも連携しながら取り入れるべきサービスについて検討してもらいたい。 ②サービスの拡充や民間団体との連携等については積極的に展開してもらいたいが、新たな取組を増やしすぎると負担が大きくなりすぎるため、見直しも思い切ってスピーディーに行い、効果的に事業を実施してもらいたい。
			拡大	4		
			要改善	1		
			縮小			
			再構築 ・廃止			

No.	事業名 担当所属 (26 年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善点・要望	
		評価結果	内訳（人）			
5 【2 班】	景観推進事業 都市整備室 (2, 312 千円)	要改善	維持		「福井らしい景観」を形成し維持することは必要であるが、市民の都市景観に対するとらえ方とのギャップが見られる。 さらに市民に景観形成に積極的になってもらえるよう事業の推進に努めてもらいたいことから、今後の方向性は「要改善」とした。	①景観賞は建築物単体等のスポット的なデザインに対する評価という印象が強いため、周辺風景も含めた面としての景観の美しさや活動を評価するような視点にもさらに力を入れるべきである。 ②景観審議会や関係所属とも連携して、緑化活動等を面的に市民活動として推進することで、市民がイメージしやすい景観の形成を図ってもらいたい。
	拡大					
	要改善		5			
	縮小					
	再構築 ・廃止					
6 【2 班】	交通安全 普及啓発事業 まちづくり・国際課 (27, 056 千円)	要改善	維持	1	継続して取り組むべき事業であるが、時代が変化している中で、今までのやり方を継続するだけでは効果に疑問もある。 市民の安全安心に繋がる事業であり、より実効性のある手法を検討してもらいたいため、今後の方向性は「要改善」とした。	①超高齢社会や情報化等社会の変化に合わせて、年代に合った啓発活動となるよう、その目的や手法、効果を再検討し、より実効性のある取組とすべきである。 ②若者も啓発活動に参加してもらう等、新しい視点での事業展開を図り、若者にも意識を浸透させてもらいたい。
	拡大					
	要改善		4			
	縮小					
	再構築 ・廃止					
7 【1 班】	地域内共同参画 推進事業 男女参画・ 市民協働推進室 (3, 023 千円)	要改善	維持		地域における男女共同参画意識の啓発という目的に対して、事業の実施手法や目標設定が妥当ではなく、効果や課題がわかりにくい。 より効果的な取組となるよう、事業内容を検討する必要があると判断し、今後の方向性は「要改善」とした。	①現状の課題を整理し、事業の目的を達成するために必要な手法や目標設定を見直すとともに、PDCA サイクルを意識して事業を展開すべきである。 ②男女共同参画推進員については、地域における役割を明確にし、様々な年代の人に担ってもらえるよう努めてもらいたい。
	拡大					
	要改善		5			
	縮小					
	再構築 ・廃止					
8 【2 班】	自治会型 デイホーム事業 地域包括ケア推進課 (68, 525 千円)	要改善	維持		超高齢社会において全地域での介護予防事業の実施は重要であるが、事業の対象となる 65 歳以上の高齢者の多くが、継続して利用したいと思える内容には必ずしもなっていない。 利用者の視点に立って内容を見直す必要があると判断し、今後の方向性は「要改善」とした。	①対象者のニーズを把握し、幅広い利用目的に対応できるよう、多様なメニューを提供すべきである。 ②地域間の差が出ないように、専任職員のスキルアップについては行政が責任をもって取り組んでももらいたい。 ③利用者ニーズの多様化に対応するため、いきいき長寿よろず茶屋等の関連事業との連携についても検討してもらいたい。
	拡大					
	要改善		5			
	縮小					
	再構築 ・廃止					

No.	事業名 担当所属 (26 年度決算額)	今後の方向性		評価結果の理由	改善点・要望	
		評価結果	内訳（人）			
9 【2 班】	成人式開催事業 生涯学習室 (3, 323 千円)	要改善	維持		「成人したことの自覚を促す」「社会全体で祝い励ます」という事業の目的と、新成人自身の「懐かしい同級生に会いたい」という参加目的にずれがある。 社会の変化、時代のニーズを考慮しながら、市が開催する成人式の目的を再検討した上で、時間をかけて事業を改善する必要があると判断し、今後の方向性は「要改善」とした。	①現在の「式典」「はたちのつどい」という二部構成に変更して 15 年ほど経ち、社会の受け止め方や新成人の意識も変わってきているため、式の構成や会場等について検討すべきである。 ②式典を行政が行う必要性は理解できるが、同窓会的な「はたちのつどい」は、地域や民間に委ねることを検討してもらいたい。 ③はたちのつどい実行委員会については、人数を増やし、「はたちのつどい」の運営に主体的に携わることや、式典も含めた成人式全体に対する意見を聞き、取り入れることについても検討してもらいたい。
			拡大			
			要改善	4		
			縮小	1		
			再構築・廃止			
1 0 【1 班】	中山間地域コミュニティ 活性化事業 行政管理室 (4, 892 千円)	維持	維持	3	集落支援員、地域おこし協力隊の配置は始まったばかりでまだ評価をするだけの結果が出ていないが、超高齢社会や人口減少の進行により、中山間地域に対する行政の支援は今後ますます必要となると判断し、協議の結果、今後の方向性は「維持」とした。	①集落支援員と地域おこし協力隊員の役割を明確にするとともに、地域ごとに抱える課題を整理して、それに相応しい人員の募集ができるようにしてもらいたい。 ②協力隊員が今後地域での関わりを深めていく上で生じる問題に対して、行政として、隊員の相談対応等活動のサポートにも心がけてもらいたい。
			拡大			
			要改善			
			縮小	1		
			再構築・廃止	1		
1 1 【2 班】	国際化推進事業 まちづくり・国際課 (13, 385 千円)	維持	維持	4	国際交流の機会の創出は重要であり、人材育成の観点からも必要な事業であるため、今後の方向性は「維持」とした。	①事業の手法や内容が固定化することのないよう、常に事業の目的を再確認しながら取り組んでももらいたい。特に青少年の国際交流については、将来の福井を担う人材育成の観点から、国際交流体験の活用を意識して、関係団体とも連携して取り組んでももらいたい。 ②ジュニア大使派遣事業については、多様な生徒が参加できるよう選考基準の工夫等をしてもらいたい。
			拡大			
			要改善	1		
			縮小			
			再構築・廃止			
1 2 【1 班】	保育カウンセラー 配置事業 子育て支援室 (5, 296 千円)	維持	維持	5	就学前の子どもの健やかな育ちを支援するために必要な事業であり、限られた事業費内で効果的に取り組んでいる努力も評価できることから、今後の方向性は「維持」とした。	①様々な相談内容に対して的確なアドバイスができるよう、保育カウンセラーのスキルアップには常に注力してもらいたい。 ②園の訪問回数にこだわらず、必要と考えられる子どもにはできるだけ対応を図るよう努めてもらいたい。
			拡大			
			要改善			
			縮小			
			再構築・廃止			

No.	事業名 担当所属 (26 年度決算額)	今後の方向性			評価結果の理由	改善点・要望
		評価結果	内訳（人）			
1 3 【1 班】	乳幼児健康支援 デイサービス事業 子育て支援室 (54, 072 千円)	維持	維持	5	安心して子育てができる環境整備のために必要な事業であり、今後も継続して取り組んでもらいたいことから、今後の方向性は「維持」とした。	①利用者の延べ人数が毎年それほど変動していないことから、まだこの制度を知らない人がいると想定されるため、必要とする人に制度が伝わるような事業の PR に努めてもらいたい。
			拡大			
			要改善			
			縮小			
			再構築 ・廃止			
1 4 【1 班】	健康教育相談事業 保健センター (4, 332 千円)	維持	維持	4	事業の目的・方向性が明確に示されており、課題の分析や検証による目標設定やターゲット設定も明確で評価できる。 今後も順調に展開してもらいたいため、今後の方向性は「維持」とした。	①国民健康保険の加入者以外の市民にも情報が届くよう、広報等の手段を工夫してもらいたい。
			拡大			
			要改善	1		
			縮小			
			再構築 ・廃止			